



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

資料5



社会資本整備審議会 道路分科会 第58回国土幹線道路部会

ヒアリング資料

広島県

(本四高速関係10府県市 R5年度幹事県)

令和5年10月5日

広島県知事 湯崎 英彦

本日の内容

1

**本州四国連絡高速道路の建設・
料金に関する経緯**

2

**環瀬戸内海地域交流促進協議会の
取り組み**

3

**本州四国間の交流人口・
本州四国連絡高速道路の交通量**

1 本州四国連絡高速道路の建設・料金に関する経緯

建設に関する経緯

本州四国連絡道路は、

- ・西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）
- ・瀬戸中央自動車道（瀬戸大橋）
- ・神戸淡路鳴門自動車道

の3つのルートで構成されており、昭和45年から国による調査が開始され、昭和48年より建設がスタート。

本州と四国を結ぶ幹線道路として、広域的な物流・観光の活性化に大きく寄与し、瀬戸内地域のみならず、日本国内の経済活動や生活の豊かさ向上を支えている。



多々羅大橋（西瀬戸自動車道）



瀬戸大橋（瀬戸中央自動車道）



明石海峡大橋（神戸淡路鳴門自動車道）

	延長	全線開通年	事業費
西瀬戸自動車道	46.6km	平成11年	7,300億円
瀬戸中央自動車道	37.3km	昭和63年	6,700億円
神戸淡路鳴門自動車道	89.0km	平成10年	1兆4,700億円
合計	172.9km	—	2兆8,700億円

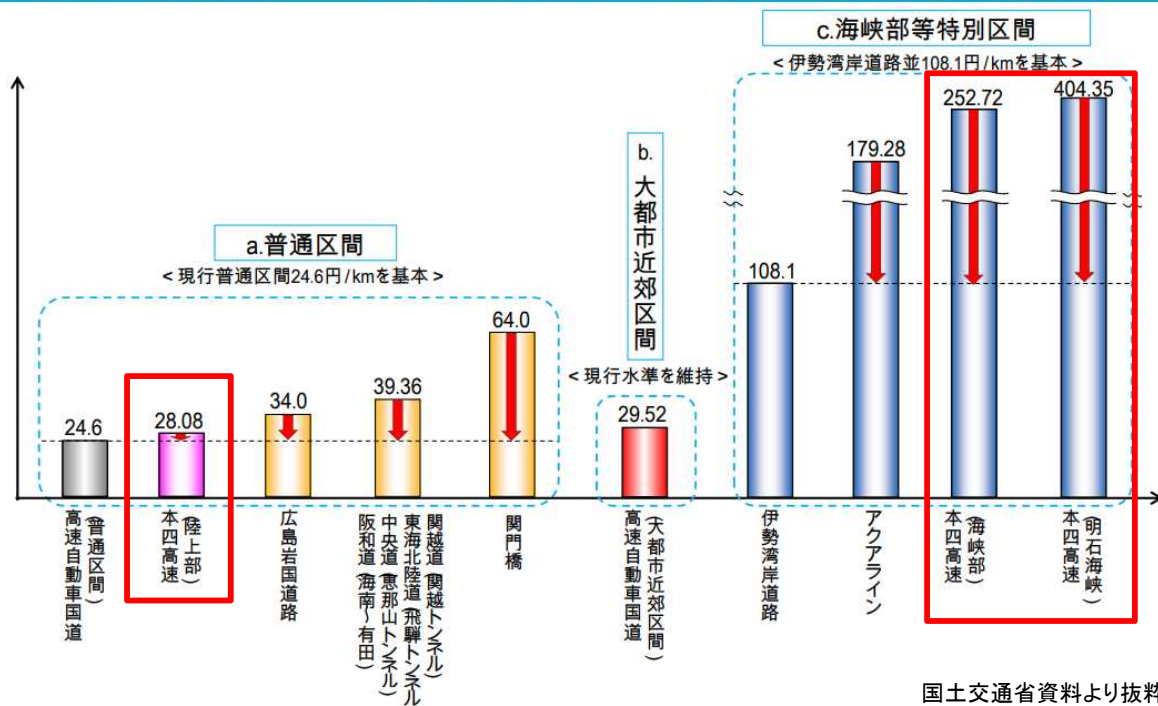
1 本州四国連絡高速道路の建設・料金に関する経緯

料金に関する経緯

本州四国連絡高速道路の通行料金は、当初、3ルート of 収支を一つの償還対象とする料金プール制が採用され、**海峡部が多く建設費が高いことから全国の他の高速道路に比べて割高であったため、平成25年までは、関係10府県市が本四高速へ出資金を支払うことなどにより通行料金の低減が図られてきた。**

平成26年4月からは、全国路線網（全国プール）に編入され、ETC車に限り当面10年間（令和5年度末まで）全国共通の料金水準まで引き下げられている。

3つの料金水準の導入 ~「整備重視の料金」から「利用重視の料金」への転換~



TOPIC

■ 関係10府県市

- 本四高速への出資している地方公共団体：
大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、大阪市及び神戸市
- 関係10府県市では「幹事県」持ち回りで担当しており、令和5年度は広島県が幹事県。
- また、建設に要する資金は主に有利子資金であるが、調達資金のコストを所定の水準に抑えて金利負担を軽減するため、また、本四高速の利用料金の低減に資することから、国と地方公共団体（関係10府県市）は本四高速へ平成25年度まで出資をしていた。

1 本州四国連絡高速道路の建設・料金に関する経緯

本四架橋開通・料金引き下げによるストック効果【西瀬戸自動車道】

01

広島県産「レモン」

6次産業化で地域活性化



- 広島県尾道市の生口島をはじめとするしまなみ海道の島しょ部は、温暖で強風が少なくレモンの栽培に適した環境のため、収穫量は全国一。
- 近年ではレモンを加工した商品を島内外各地で販売。
- こうした加工品の出荷において、しまなみ海道が開通し時間制約がなくなったことに加え、料金引き下げにより運搬コストが低減したことから、島内で生産・加工・販売をする「6次産業化」が進み、雇用創出などによる地域活性化に繋がっている。

02

愛媛県産「真鯛」を

高い鮮度で大都市の市場へ出荷



- 瀬戸内海や宇和海の豊かな海に恵まれた愛媛県では養殖業が活発で、愛媛県産「養殖真鯛」は生産量全国一。
- 高速道路ネットワークの拡充によって鮮度の高い真鯛がより遠方へ出荷できるようになったことから、東京・大阪市場での取扱量を順調に伸ばしている。

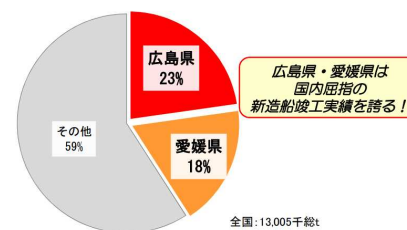
03

愛媛県今治市島しょ部に

造船所が移転、地域活性化に寄与

- 古くから海上交通の要衝であった広島県・愛媛県のしまなみ海道沿線地域は、造船関連産業の集積地。
- 今治市のある造船所では、工場が手狭になったことなどから、今治市本土と来島海峡大橋でつながる大島へ移転した。
- 約200名の従業員も引き続き新工場へ通勤しており、約30名増加した従業員の内約7割を地元・大島で採用。

■新造船竣工実績(平成27年国内シェア)



出典：「日本造船工業会 造船関係資料」、「四国運輸局 管内造船資料」、中国運輸局資料より作成

■しまなみ海道沿線の造船所



造船所 担当役員の声

新工場は旧工場の4倍の敷地面積をとることができ、合理的なレイアウトにより徹底的なコストダウンを図ることができています。ただし、いくらいい用地があっても、“橋”がなければ移転しませんでした。

1 本州四国連絡高速道路の建設・料金に関する経緯

本四架橋開通・料金引き下げによるストック効果【瀬戸中央自動車道】

01

中四国の物流ハブとして 機能が高まる岡山県

- 高速道路ネットワークの東西と南北が交差する岡山県は、物流のクロスポイントとして重要度が増加。
- 瀬戸大橋開通後は、早島IC付近で物流関連施設の立地が増加し、近年では岡山総社IC付近で大手通販会社の物流関連施設などが新設されており、岡山県の倉庫面積は中国地方で第1位。
- 岡山県は、四国との貨物取引量において、大阪府に次いで第2位と四国との結びつきが強くなっている。

■ 岡山県(早島IC・総社IC)近辺の物流関連施設立地状況



出典：RESAS（地域経済分析システム）ほかをもとに作成

大手スーパーマーケット 担当役員の声

中国・四国地方の瀬戸内海沿岸部の都市周辺へ集中した店舗展開を行っています。そのクロスポイントとなる早島町に物流関連施設を集約することで、物流トータルシステムの効率化がはかれています。



02

香川県 坂出・坂出北IC近辺に 物流関連施設が形成、就業者数が増加

- 坂出・坂出北ICは、本州から四国への玄関口として、また四国内のアクセスが良いことから物流関連施設が増加している。
- また、坂出市・宇多津町は、各自治体による立地促進対策等により、運輸業等の物流関連施設の立地が相次ぎ、就業者数は宇多津町では増加、有効求人倍率も坂出市・宇多津町を含むエリアが県内トップ。
- 近年では、坂出北ICに近接した番の州臨海工業団地にて、大規模物流関連施設が立地。

■ 坂出・坂出北IC近辺の物流関連施設立地状況



出典：RESAS（地域経済分析システム）ほかをもとに作成

宇多津町担当者の声

瀬戸大橋開通に伴う流通の高度化と区画整理事業や企業誘致がうまくリンクし、企業や人口が大幅に増加しました。また、大型店や映画館等が出来たことも重なり、町がにぎわいました。



1 本州四国連絡高速道路の建設・料金に関する経緯

本四架橋開通・料金引き下げによるストック効果【神戸淡路鳴門自動車道】

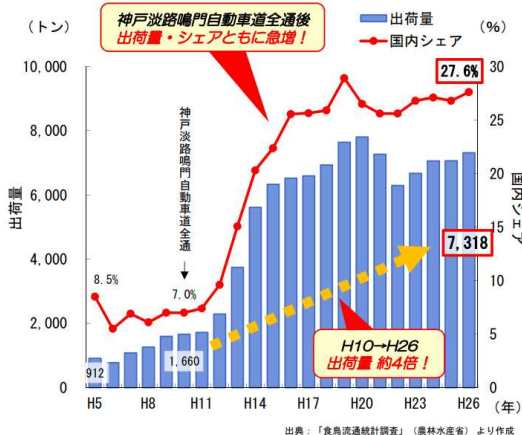
01

徳島県産「地鶏」 のシェア拡大

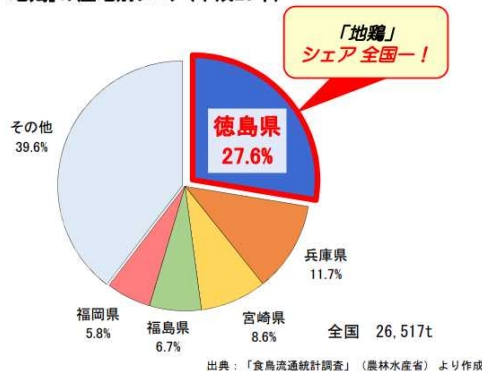


- 古くから養鶏産業が活発な徳島県の「阿波尾鶏」は、自然に恵まれた環境で80日以上かけて丹念に飼育された「地鶏」。
- 徳島県や生産者一体の取り組みにより、出荷生産体制の整備や消費拡大対策が行われ、全国に販路を拡大してきた。
- 「地鶏」の産地別シェアでは、平成14年に全国一となり、平成26年には27.6%を占めている。

■徳島県産「地鶏」の出荷量と国内シェア



■「地鶏」の産地別シェア(平成26年)

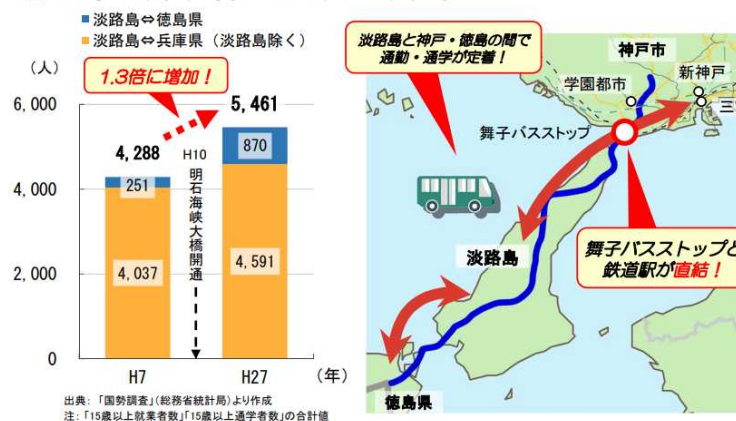


02

淡路島発着の高速バスで 神戸・三宮が身近に

- 明石海峡大橋開通後、淡路島と神戸方面とを結ぶ高速バスの運行が始まった。
- 淡路島発着の高速バスは、便数の豊富さと、神戸・三宮や舞子で鉄道駅に直結しているアクセスの良さが特徴。
- 現在では、淡路島と神戸・徳島の間での通勤・通学は定着し、就業者数・通学者数は20年間で約1.3倍に増加した。

■淡路島と兵庫県・徳島県間の就業者・通学者数の変化



高速バス（淡路島～神戸間）利用者の声

毎月数回、淡路島外での仕事の営業活動のほか、趣味のスポーツ観戦や旅行のため利用しています。舞子バスストップで下車すれば鉄道駅に直結しており、舞子から神戸・三宮までは電車で約20分です。



2 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み

環瀬戸内海地域交流促進協議会とは

全国路線網への編入に当たり、本四高速のより一層の利用促進を図る必要があったことから、**沿線自治体などにおいて、平成26年3月に「環瀬戸内海地域交流促進協議会」を設置。**

環瀬戸内海地域の経済界、自治体等の関係者が一体となって**様々な分野での交流を促進し、経済、生活、文化の一層の発展、向上を図るための取組を推進**している。

■協議会の構成委員

商工会関連

四国経済連合会会長、同観光振興委員会委員長、同産業振興委員会委員長、中国経済連合会会長

県

兵庫県副知事、岡山県副知事、広島県副知事、徳島県副知事、香川県副知事、愛媛県副知事、高知県副知事

国

四国運輸局局長、中国地方整備局局長、四国地方整備局局長（事務局）

有料道路会社

本州四国連絡高速道路(株)代表取締役社長（事務局）、
西日本高速道路(株)中国支社支社長、西日本高速道路(株)四国支社支社長

■協議会の目標

現行料金水準期限の5年後で、かつ瀬戸大橋開通40周年、神戸淡路鳴門開通30周年が重なる**令和10年度**を目標年次とし

- **交流人口平成25年比 1,000万人増**
- **上記目標に相当する本四高速の日平均交通量61,000台/日**

を目指す。

2 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み

■ 取り組みの4つの柱

各団体 「#かんせと」によるSNS情報発信

四国地方整備局
本四高速(株)

環瀬戸HPのリニューアル

情報発信

- 標識・案内の多言語化等
- SNSやHPを活用したインパクトのある情報

サイクリングしまなみ開催

愛媛県
広島県
岡山県
中国地方整備局

愛媛・しまなみ海道
地域振興ビジョン策定

観光キャンペーンの実施

高速道路を活用した周遊を支援する取組

観光連携

- サイクリングなどのスポーツ観光の振興
- 周遊ルートの設定
- 周遊を支援する事業の実施

やまなみ街道サイクル「道の駅」でん開催

企業誘致の促進

兵庫県

産業連携

- 物流機能強化・産業基盤整備
- ワークेशन・サテライトオフィス等の取組

企業誘致の促進

徳島県

企業誘致の促進

香川県

生活・文化等

- 歴史や文化のネットワーク化
- 食文化の発信・伝承

食文化パネル展の開催

徳島県

高知県

歴史的遺産のネットワーク構築とPR

環瀬戸内海地域の
現存天守6城を巡る
旅

2 【兵庫県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



1 淡路島ロングライド150の開催

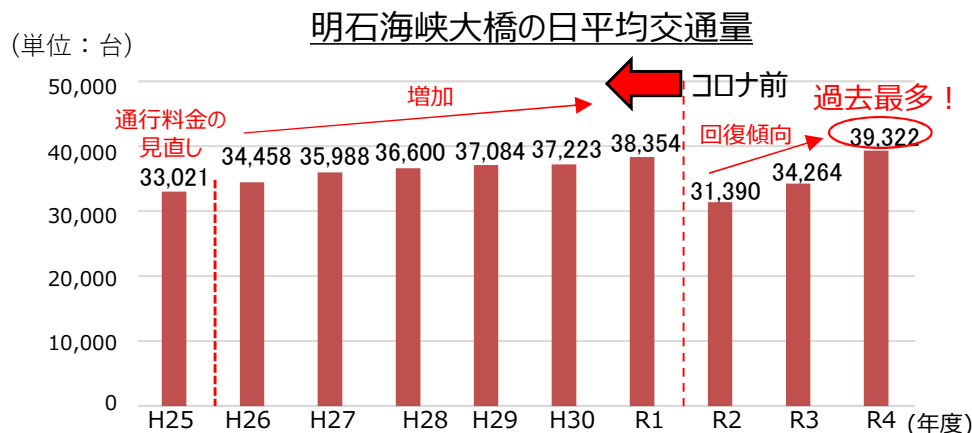
淡路島を一周する150kmのサイクリングコース「アワイチ」がサイクリストの高い人気を誇っている。

令和5年9月18日（月・祝）に、アワイチを1日で駆け抜けるイベント「淡路島ロングライド150」を開催し、1,721名の多くのサイクリストが参加。



取組成果

平成26年度の本四高速通行料金の引き下げや環瀬戸内海地域交流促進協議会での取り組みにより、明石海峡大橋の交通量は年々増加。コロナ禍を経て、令和4年度には過去最多の39,322台/日を記録。淡路地域への観光入込客数も増加しており、交流人口の拡大に寄与。



※本州四国連絡高速道路株式会社HPの交通量データ（H25年度～R4年度）をもとに作成

2 兵庫デスティネーションキャンペーン（DC）の開催

令和5年7月1日～9月30日に、兵庫県内の自治体と観光事業者、JRグループ6社や旅行会社が一体となって行う大型観光キャンペーンを開催。

兵庫ならではの食や体験を味わうことができるイベントを実施。

■うずしおクルーズ

淡路島の福良港から出港し、目の前に迫る鳴門海峡のうずしおを楽しめる観光船「うずしおクルーズ」。500人を収容できる大型船「新・咸臨丸」に乗って、約60分間の船旅を楽しめる。



新・咸臨丸によるうずしおクルーズ

■御食国としての淡路島

淡路島は今も昔も食材の宝庫であり、古代には御食国と呼ばれ、朝廷に海産物などの食材を献上していた。

沼島付近で獲れるハモは肉質がよくコクがあるのが特徴。



ハモ料理



通行料金の改定前より
1.3倍増加！

※兵庫県観光動態調査報告書（H25年度～R3年度）をもとに作成

2 【岡山県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



1 多彩な観光資源を生かした取組

■ 岡山の魅力満載の大型観光キャンペーン (岡山DC、秋旅キャンペーン、夏旅キャンペーン)

「くだもの大国おかやま」「夜を楽しむ」「歴史スポット」「アート」などをテーマに岡山の魅力ある観光資源を磨き上げ、JR等と連携した大型キャンペーンを実施。



令和5年7月～9月に実施した
おかやま夏旅キャンペーン



フルーツ収穫体験



美星天文台からの星空



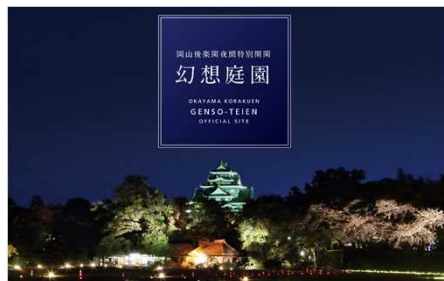
石切りの溪谷展望台(北木島)



mt project
(GREENable HIRUZEN)

■ 夜間特別開園 (岡山後楽園)

「幻想庭園」として、春、夏、秋に夜間の特別開園を実施。ライトアップされた後楽園は、昼とはひと味違う美しさがあり、多くの方が来場。



2 サイクリングの魅力を発信する取組

■ 「ハレいろ・サイクリングOKAYAMA」

県内のサイクリングの魅力を発信するプロジェクト。瀬戸内海や吉備高原、中国山地が織りなす壮大な景観、今も歴史が色濃く残る美しい町並み、個性豊かなご当地グルメなどを発信。



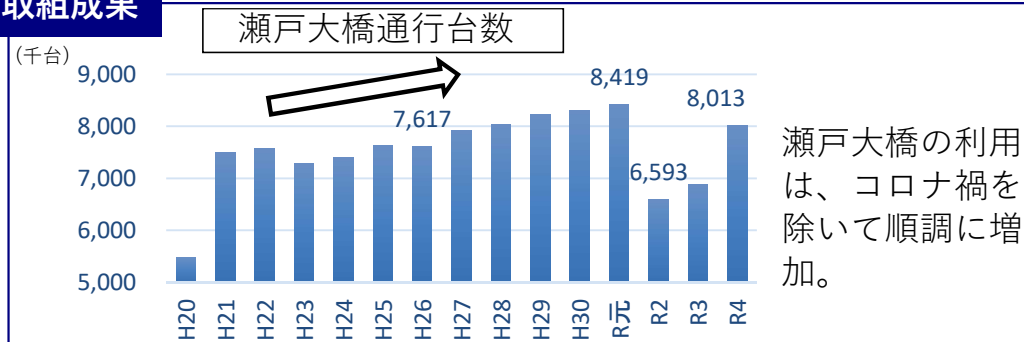
3 広域で連携した取組

■ 瀬戸大橋バックヤードツアー (与島橋探検)

岡山県、香川県、本四高速株式会社で連携し、より身近に瀬戸大橋を体験していただくため、瀬戸大橋を利用したインフラツアーを計画 (令和5年11月実施予定)。



取組成果



2 【徳島県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



1 本四高速・兵庫県と連携しウォークイベントを開催

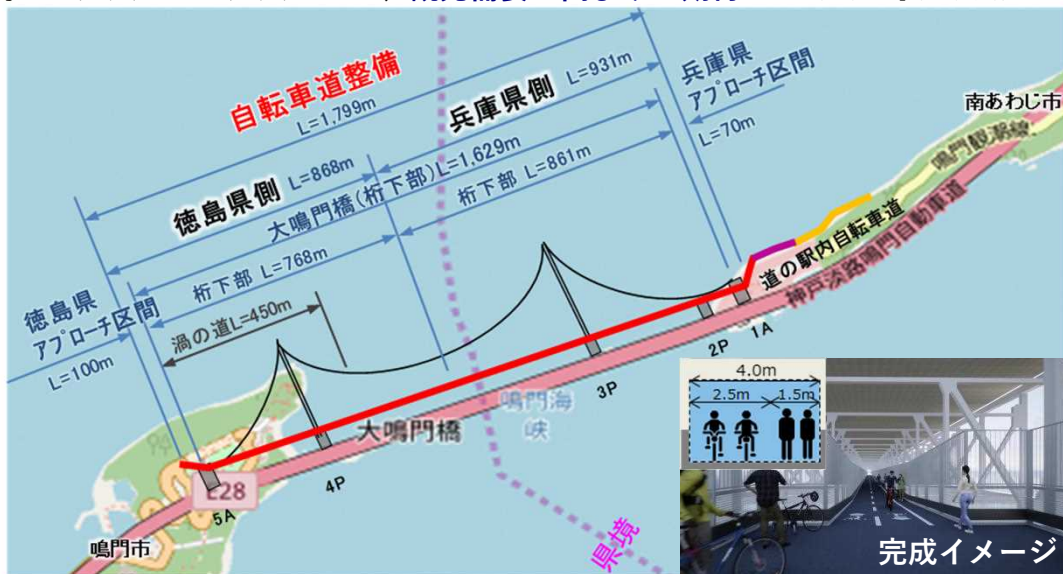
大鳴門橋や明石海峡大橋の管理路を歩いて渡る「大鳴門橋うずしおウォーク」「明石海峡大橋海上ウォーク」や2橋を一度に渡る「2橋ウォーク」を平成21年から開催(R4年度参加者数)

大鳴門橋うずしおウォーク	251名
明石海峡大橋海上ウォーク	2,011名
2橋ウォーク	256名



3 大鳴門橋自転車道整備に事業着手

徳島県鳴門市と兵庫県南あわじ市を結ぶ、大鳴門橋の桁下空間を活用した全長約1.8kmの自転車道整備に**今年度から事業着手し、令和9年度完成予定**。自転車道完成後の「渦の道」を含めた想定利用者数は、(徳島県、兵庫県共同)約65万人～75万人であり、**観光需要の高まりに期待** ※R元年「渦の道」利用者数 約55万人



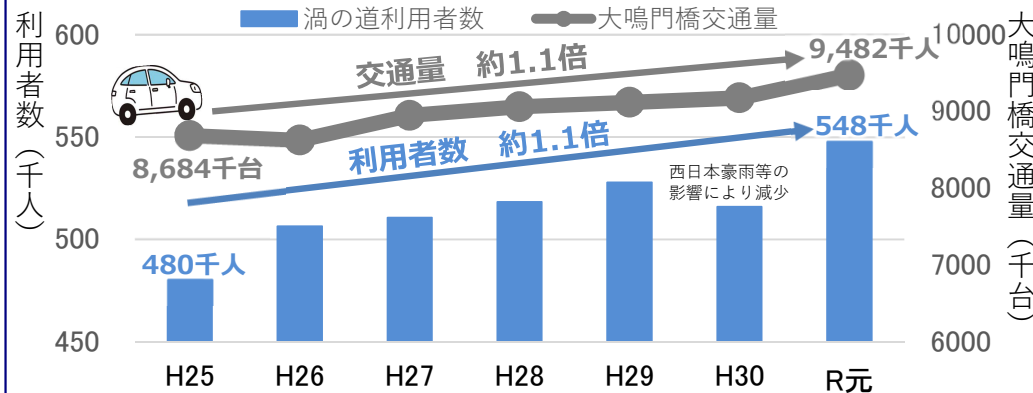
2 県内外で「各県の食文化」に関するパネル展を実施

- R4.11.26(土)、27(日) (愛媛県) えひめ・まつやま産業まつり 来場者数：約9万人 ※本四高速、愛媛県、徳島県共同で出展
- R5.7.9(日) (徳島県) Jリーグ公式戦 来場者数：約8,300人 「パネル展」に併せ、瀬戸内地域の**観光やグルメ**に関するパンフレットを配布



取組成果

鳴門海峡を渡る「大鳴門橋」の交通量と、桁下空間に造られた海上遊歩道である「渦の道」の入込客数は、**全国共通料金制度導入後年々増加**しており、導入前の平成25年度と令和元年度を比較すると、**交通量・利用者数ともに1.1倍**となっている。利用者の**約5割が中国・近畿地方**からの来訪者で、その**交通手段の約8割が自家用車・高速バス等**であることから、**交流人口の拡大に寄与**している。



2 【香川県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み

1 新しい観光スタイルの推進

香川県
じゃない
それだけ
うどん県

○体験型コンテンツの充実

コロナ禍によって変化した観光スタイル、訪日外国人の体験消費の増加に対応するため、OTA（オンライントラベルエージェント）と連携し、アウトドアや食、アートなどの地域資源を活用した体験コンテンツを造成し、販売。

○割引キャンペーン

体験コンテンツの販売を促進するため、利用料を最大半額とする割引キャンペーンを実施。



● 飴づくり体験 ●



● 味噌づくり体験 ●

2 島へ行こうキャンペーン

○ハッシュタグキャンペーン

（実施期間：第一期 6月1日～9月30日）
香川県の魅力をSNSで投稿した方に抽選で旅行チケットや県産品をプレゼントするキャンペーンを実施。

○島滞在旅

（実施期間 7月1日～10月31日）
その島ならではの体験や、アート、景色、食などを巡る「島周遊・滞在型」ツアーに対して旅行代金の20%を割引するキャンペーンを実施。（最大5,000円）



3 瀬戸大橋開通35周年記念事業

○「せとうち島旅フェス2023」（R5.5.21（日））

マルシェやインフラツアーなど瀬戸内海の魅力を五感で知ってもらうイベント。与島PAにて本四高速と共催。

○瀬戸大橋スタンプラリー（R5.5.21～7.31）

与島や観光地を巡り抽選で県産品等をプレゼントするスタンプラリーを実施。

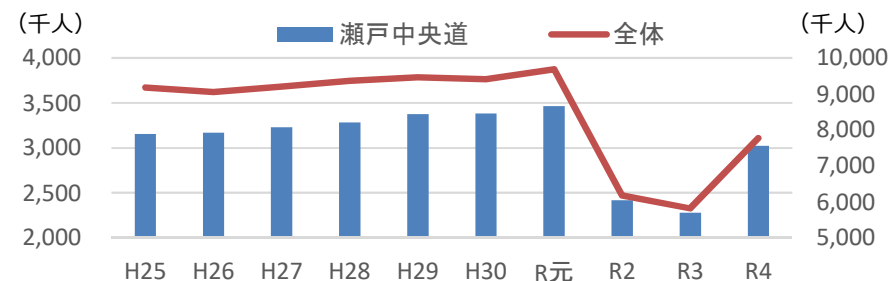
○瀬戸大橋開通35周年記念花火大会（R5.8.11（金・祝））

「さかいで大橋まつり」と連携した花火大会を実施し、10万人が来場。



取組成果

県外観光客入込数は年々増加しており、本州四国連絡高速道路の料金引き下げ前の平成25年度と令和元年度を比較すると、**県外観光客入込客数は51万人増（約7%増）、そのうち瀬戸中央道を自動車を利用して来県した人は31万人増（約10%増）**となっている。



2 【愛媛県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



1 しまなみ海道エリアの交流人口拡大に向けた取り組み

■ 広域ツアー商品の更なる造成

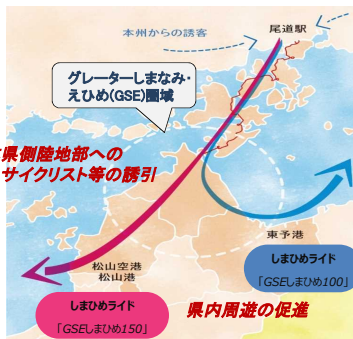
サイクリングと組み合わせた広域ツアー造成に向けて、**モニターツアーや商談会**を開催。

■ 「広域サイクルツーリズム圏域」の形成

来島海峡大橋を中心とする半径50kmのエリアに圏域を結成し、**滞在型観光の推進**を図った。

■ 「エリア間交流協定等」の締結

しまなみを代表とする「来島海峡大橋」と**海外著名橋を核とする協定締結**により世界的な情報発信力の強化と認知を拡大。



2 サイクリングしまなみ2022の開催 (R4.10.30)

昨年10月に開催した「サイクリングしまなみ2022」は、**海外は過去最高となる33の国・地域から参加され、国内と合わせて総勢6,371人**の方々に出走いただき、風光明媚な瀬戸内海を満喫していただいた。**次回2024大会 (R6.10) も決定。**



3 しまなみ海道の自転車道無料化

瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金については、愛媛県、広島県等が減収の一部を負担することにより、平成26年7月から無料(令和6年3月末まで)となっている。無料化により、**サイクリストの利用環境の向上や主要観光地の入込客数の増加が期待**できることから、引き続き、令和6年度以降の無料化継続を要望する予定。



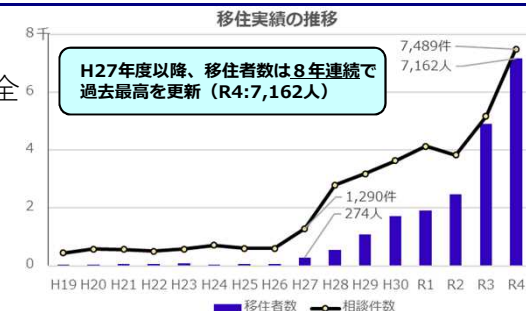
4 修学旅行によるレンタサイクル費用助成事業

しまなみ海道自転車道利用促進協議会(愛媛事業本部)では、しまなみ海道の利用を促進するため、**受注型企画旅行(修学旅行)について助成**している。令和4年度は8校(598名)を助成(R3比1.6倍)。



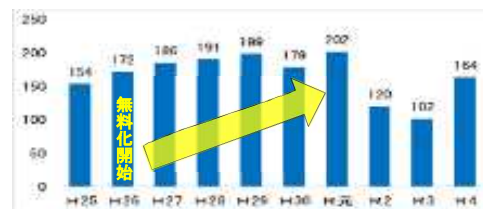
5 県内移住の促進

令和4年度の移住実績は**過去最高更新の7,162人**となり、20~30代が全体の半数を超えた。東京や大阪等大都市圏の若年層を中心に、移住先としての愛媛の魅力が浸透。(令和8年度の移住者数8,000人を目標)



取組成果

主要観光地*の入込客数は、本州四国連絡高速道路の料金引き下げ及び自転車通行料金無料化前の平成25年度から令和元年度を比較すると、**1.3倍、4.8万人の増加**となった。(レンタサイクル貸出実績も、令和元年度比1.8倍)



【※主要観光地】
しまなみ海道沿線の主要観光地12か所の合計
(愛媛県) 多々羅しまなみ公園、マリンオアシスはかた、よしうみいきいき館、村上海賊ミュージアム、
亀老山展望公園、サンライズ糸山
(広島県) サンセットビーチ、因島水軍城、向島洋らんセンター、尾道市立美術館、千光寺山ロープウェイ、尾道商業会議所記念館

2 【高知県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



1 高知県観光博覧会の開催

■ 牧野博士の新休日～らんまんの舞台・高知



らんまんの舞台・高知 高知県立牧野植物園や牧野富太郎のふるさと佐川町、
牧野博士の新休日 越知町を中心に、県全域で博覧会事業を展開！
 博覧会期間：令和5年3月25日（土）から
 令和6年3月31日（日）まで

▼ 牧野博士ゆかりの地の賑わい

● 高知県立牧野植物園（高知市）



R5 G.W期間において、過去最高の入園を記録！

● バイカオウレンウォーキング（佐川町）



● 横倉山視察会（越知町）



2 歴史的遺産とネットワーク構築とPR

全国に天守が現存する12城のうち、6城が環瀬戸内海地域に存在。

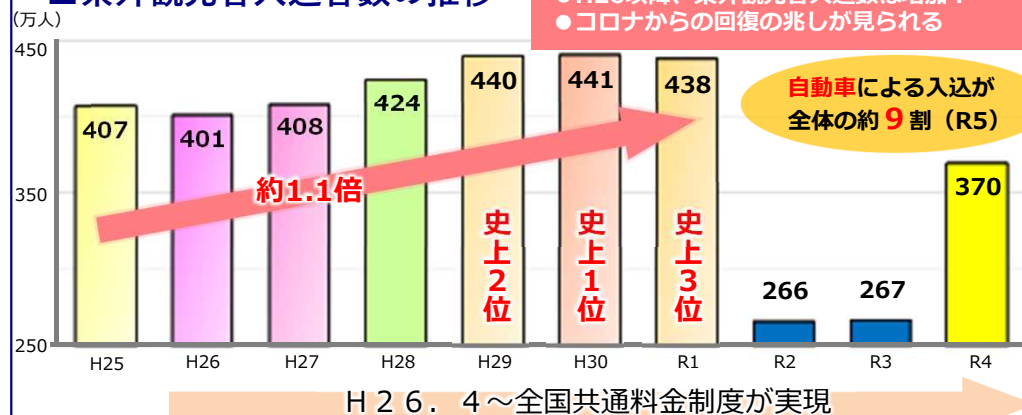
本州四国連絡高速道路を利用して1泊2日で巡るモデルコースを提案し、コースを紹介したチラシを観光博覧会の会場で配布するなど環瀬戸内海地域の交流を促すPR活動を実施。

■ 高知城懐徳館施設利用実績

H25：約261千人
 R1：約297千人（約1.1倍増）

取組成果

■ 県外観光客入込客数の推移



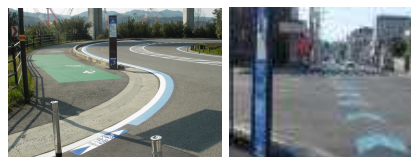
2 【広島県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



1 安全で快適なサイクリング環境の整備

■ ブルーラインや案内看板等の設置

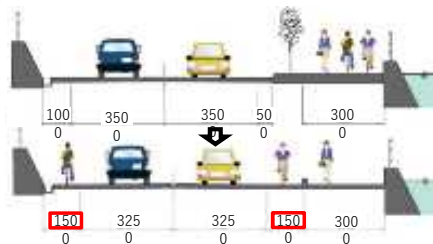
自転車の走行位置の明確化と逆走を防止するとともに、自動車運転者に対して注意を促す。



ブルーライン 矢羽根型路面表示

■ 道路空間の再配分

自転車以外の通行に必要な幅員は確保しながら、植樹帯の撤去や車線幅の縮小により、自転車が安全に通行できる空間を確保。



▼上り勾配 ▼下り勾配

■ 急勾配注意喚起看板

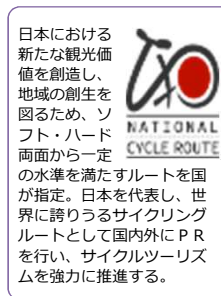
上りでは、体力や体調にあわせたサイクリングを促し、下りではスピードの抑制を促す。



2 ナショナルサイクルートの指定 (R1.11.7)

平成11年に全橋供用され、しまなみ海道サイクリングロードが全線開通して以来、**走行環境の整備や情報発信を推進。**

しまなみの多島美などの魅力的な景観に加え、これまでに整備した走行・受入環境や体制等が評価され、「**ナショナルサイクルート**」第1次指定において**選定**された。



3 しまなみ海道の自転車道無料化・情報発信

■ しまなみ海道自転車道無料化

従前は全線通行した場合に500円であった自転車通行料金を広島県・愛媛県で料金を負担し、**平成26年より無料化。**なお、当初、令和4年3月31日までであった無料化は、令和4年3月4日に令和6年3月31日まで延長することが決定。

協賛企業数：22社 (令和5年4月 現在)



協賛ポスター

■ 企業協賛・グッズ販売

広島県・愛媛県・尾道市・今治市で構成する「しまなみ海道自転車道利用促進協議会」において、グッズの販売やサイクリスト支援型自販機の設置をするとともに、企業協賛を募集。グッズ等の売り上げの一部や企業からの協賛金は自転車の通行料金無料化の財源として充当するとともに、マナーアップの普及啓発や自転車安全大会などに活用している。



サイクリスト支援型自動販売機



人気漫画とのコラボウェア



コロナ禍サイクリングマナー向上チラシ

2 【広島県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み

4 サイクリングしまなみ2022の開催

2014年に開催した国際大会以降、4年に1度大規模大会を開催し、中間年に中規模大会を開催。

2022年10月30日（日）に開催した国際大会においては、**6,371人**が参加。この内、海外からは台湾やインドネシア、アメリカなど33の国と地域から180人が参加。**国内外の多くの参加者に楽しんでいただいた。**

当日の様子



(左)中村愛媛県知事 (右) 湯崎県知事



向島ICにて手を振りスタートする斉藤国土交通大臣

コース

8コース (30km~140km)

併催イベント

- ステージイベント：郷土芸能、ゲストトークショー等
- ブース出展：協賛企業、自治体等 75ブース

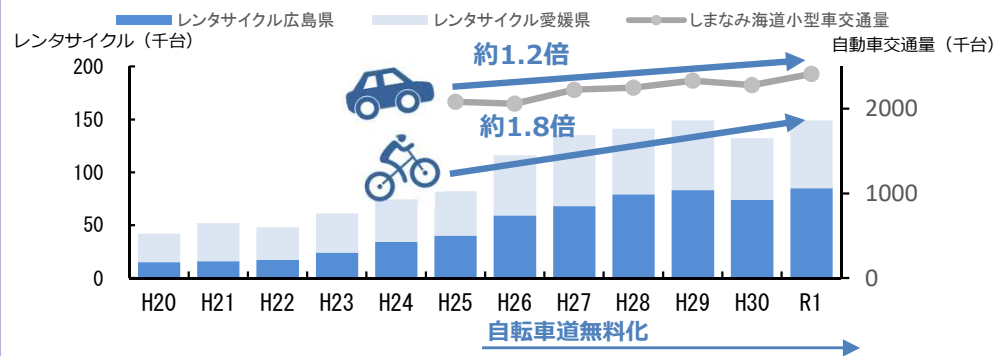
新たな取り組み

- 広島側往復コース（尾道⇔生口島）を設定
- 尾道フィニッシュ会場を尾道市役所に変更
- 広島スタートを向島ICに変更（高速道路走行区間の延長）

来年2024年、中規模大会開催予定！

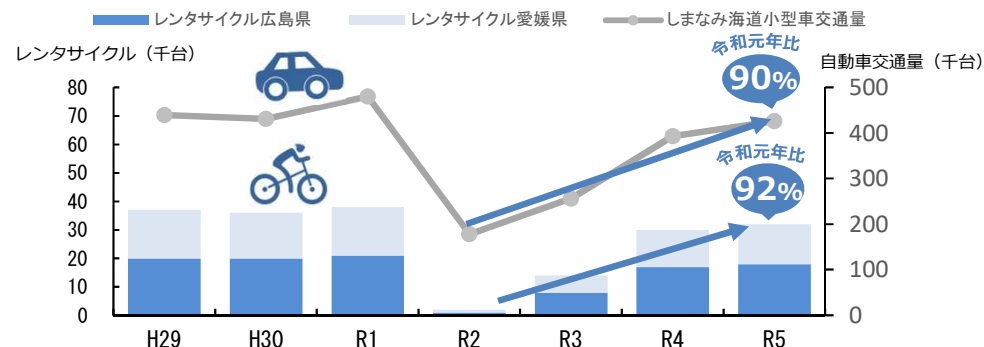
◆コロナ前までの取組成果

コロナ流行前は、レンタサイクルの貸出台数及びしまなみ海道自動車交通量は年々増加しており、自転車通行料金無料化前の平成25年度から令和1年度を比較すると、**レンタサイクル貸出台数は約1.8倍**（6.7万台増）、**しまなみ海道自動車交通量は約1.2倍**（33万台増）となった。



◆コロナ禍における交通量等の回復状況

令和5年度の4月及び5月のレンタサイクル貸出台数と、しまなみ海道の自動車交通量について、コロナ前のR1年と比べて、**レンタサイクル貸出台数は約92%、自動車交通量は約90%まで回復した。**



2 【広島県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み

5 インバウンド観光促進に向けた取組

G7広島サミット



■ 大型クルーズ客船対応

世界的なクルーズ人口の増大を背景に、今後の更なるクルーズ船の寄港増加に対応するため、**広島港宇品地区にて、大型クルーズ客船対応のクルーズターミナルを整備中。令和6年3月に完成予定。**



△クルーズ船着岸時のイメージパース

■ 東部エリア初の外国クルーズ客船寄港

福山市の鞆の浦や三原市の糸崎港など、**しまなみ海道近郊の港に、外国のクルーズ客船が初寄港。**乗客達は、**しまなみ海道のサイクリングや、生口島瀬戸田町での観光を楽しんだ。**

今後も外国クルーズ客船の寄港が予定されており、多くの訪日外国人が、しまなみ海道沿線を訪れることが期待される。



ル・ソレアル

■ 広島空港 国際線再開

新型コロナウイルスにより運休が続いていた広島空港の国際線は、令和5年1月の台北線に続き、7月にソウル線が再開され、今後大連・北京線やハノイ線等、他の路線でも再開・就航が予定されている。



ソウル線 (フェジウ航空)

2 【広島県】 環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組み



6

大阪・関西万博を見据えた取組 (第20回世界バラ会議福山大会2025)

大阪・関西万博が開催される2025年に福山市で「第20回世界バラ会議福山大会2025」を開催。(2025年5月18日～24日)



△ 2022アデレード（オーストラリア）大会の様子

世界バラ会議とは、現在世界40か国が加盟する世界バラ会連合の最大の大会で、3年に1度開催する、ばらに関する国際会議。日本で開催されるのは2006年の大阪以来、2度目。開催期間中には、「優秀庭園賞」や「殿堂入りばら」などを決定する会議や、ばらの歴史や文化などを学ぶ講義、県内・近隣市町の庭園等を視察するツアーを実施。さらに期間前には、西日本を中心に庭園等を巡る「プレツアー」を実施し、瀬戸内海沿岸部各地を訪問。大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭と会期が同時期であることを踏まえ、相互に連携を図り、共に西日本の魅力を発信し、国内外からより多くの旅行者の誘客を目指すこととしている。

7 高知県と連携した取組 (広島県立図書館における牧野富太郎展示)

令和5年4月1日～5月28日に広島県立図書館において、「牧野富太郎の本～日本植物学の父～」を開催。連続テレビ小説「らんまん」のモデルで高知県出身の植物分類学者、牧野富太郎の著書や伝記等を展示・貸出するとともに、高知県にもご協力いただき、牧野富太郎関連のパンフレットなどを配架。

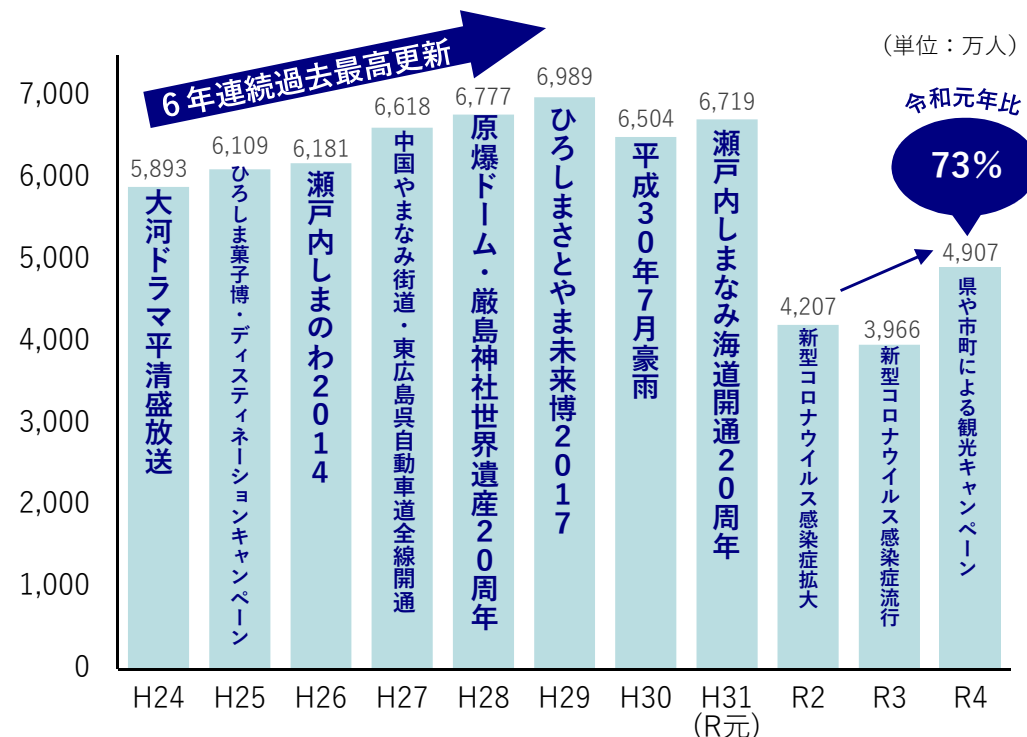


広島県公式Twitter ▶

広島県の総観光客数

本県の総観光客数は、平成25年に初めて6,000万人を突破した後、平成29年まで6年連続で過去最高を更新していたが、平成30年は西日本豪雨災害等の影響により前年を6.9%下回った。平成31年（令和元年）は回復に転じたものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年以降は大幅に減少した。令和4年の総観光客数は4,907万人となっており、コロナ流行前の平成31年（令和元年）と比較して73%まで回復している。

広島県の総観光客数の推移



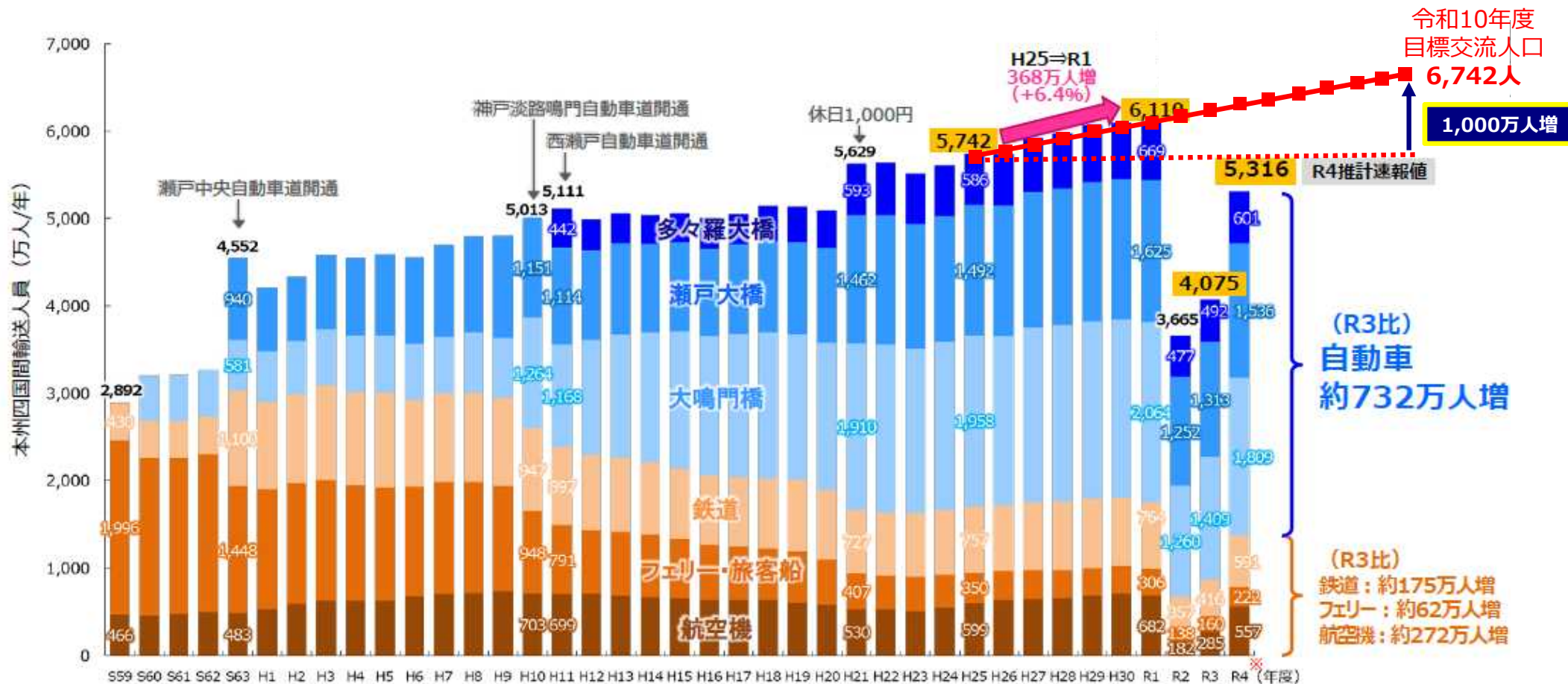
※ 「広島県観光客数の動向（令和5年7月）」より抜粋

3 本州四国間の交流人口・本州四国連絡高速道路の交通量



交通機関別の本州四国間輸送人員の推移 (R4速報値)

令和5年第1回環瀬戸内海地域交流促進協議会資料より抜粋



現行の料金水準や環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組みにより

本州四国間の交流人口は着実に増加。

3 本州四国間の交流人口・本州四国連絡高速道路の交通量



本州四国間自動車交通量（県断面交通量）

令和5年第1回環瀬戸内海地域交流促進協議会資料より抜粋



現行の料金水準や環瀬戸内海地域交流促進協議会の取り組みにより

本州四国連絡高速道路の交通量も着実に増加。

3 本州四国間の交流人口・本州四国連絡高速道路の交通量



本州四国連絡高速道路の交通量と料金収入の変化

社会資本整備審議会 道路分科会 第56回国土幹線道路部会より抜粋



西瀬戸自動車道普通車料金	平日 ETC	5,250円	4,440円	3,290円	2,890円	2,950円 (消費8⇒10%)
	休日 ETC	5,250円	4,440円	1,000円～2,350円	2,260円	2,310円 (消費8⇒10%)
	全日現金	5,250円	4,700円	4,700円	4,830円 (消費税5⇒8%)	4,920円 (消費8⇒10%)

(R6.4～の金額はR5.3事業許可における料金設定)

令和4年度の料金収入実績は、**全国共通料金制度が導入される以前の平成25年度と同程度まで増加**してきており、引き続き、**観光連携等の取り組みを進めていくことにより、更なる料金収入の増加が期待される。**

関係10府県市としての提案



本州四国連絡高速道路株式会社

引き続き、本州四国連絡高速道路が環瀬戸内海地域の発展を牽引し、「2025年大阪・関西万博」や、コロナ禍からの回復に向けて

経済界

国



経済波及効果を持続的に発展

地方自治体

高速道路会社

そのためには、

令和6年度以降の本四高速における
「全国共通料金制度」の継続が必要！
(現行の料金水準の維持)

【参考】関係10府県市が関係する団体等の要望実績（直近抜粋）



要望単位	関係自治体	時期	要望内容
関西広域連合	大阪府、兵庫県、徳島県、大阪市、神戸市	R5.6	本州四国連絡高速道路の料金について、追加出資によることなく、令和6年度以降も現行の全国共通の料金水準を維持すること。
近畿ブロック知事会	大阪府、兵庫県、徳島県	R5.8	「2025年大阪・関西万博」や「ポストコロナ時代」に向け、本州四国間の「人」と「モノ」の交流拡大を図り、経済波及効果を持続的に発展させるため、令和6年度以降も本四高速を含めた「全国共通料金制度」を継続すること。
四国知事会	徳島県、香川県、愛媛県、高知県	R5.6	「2025年大阪・関西万博」や、コロナ禍からの回復に向け、本州四国間の「人」と「モノ」の交流拡大を図り、経済波及効果を持続的に発展させるため、令和6年度以降も本四高速を含めた「全国共通料金制度」を継続すること。
中四国サミット	岡山県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	R5.8	「2025年大阪・関西万博」や「ポストコロナ時代」に向け、本州四国間の「人」と「モノ」の交流拡大を図り、経済波及効果を持続的に発展させるため、令和6年度以降も本四高速を含めた「全国共通料金制度」を継続すること。
中国地方知事会	岡山県、広島県	R5.8	「2025年大阪・関西万博」や「ポストコロナ時代」に向け、本州四国間の「人」と「モノ」の交流拡大を図り、経済波及効果を持続的に発展させるため、令和6年度以降も本四高速を含めた「全国共通料金制度」を継続すること。
個別施策提案	兵庫県	R5.7	本州四国連絡高速道路の料金について、令和6年度以降も現行料金水準を維持すること
	広島県	R5.6	本州四国連絡高速道路の「全国共通料金制度」の継続（現行料金水準の維持）
	徳島県	R4.11	本州四国間の「人」と「モノ」の交流拡大を図り、経済波及効果を持続的に発展させるため、令和6年度以降も本四高速を含めた「全国共通料金制度」を継続すること
	香川県	R5.6	令和6年度以降も本四高速を含めた「全国共通料金制度」を継続すること。
	愛媛県	R5.6	令和6年度以降も本州四国連絡高速道路の全国共通料金を継続すること
	神戸市	R5.7	本州四国連絡高速道路の料金について、令和6年度以降も現行料金水準を維持すること

【参考】西瀬戸自動車道の概要

広島県と愛媛県を結ぶ全長約60km※のルート。「瀬戸内しまなみ海道」の愛称で親しまれ、島々に住む人々にとっての生活道路としての役割も果たしているほか、「サイクリストの聖地」として世界的にも注目されている。



尾道 向島

千光寺公園

ONOMICHI U2

渡船

因島

大山神社

はっさく屋

万田発酵・HAKKOパーク

生口島

しまなみドルチェ

瀬戸田 サンセットビーチ

耕三寺博物館

大三島

大山祇神社

重点「道の駅」
多々羅しまなみ公園
「サイクリストの聖地」記念碑

マーレ・
グラッシア大三島

伯方島

重点「道の駅」
伯方S・Cパーク

大島 今治

亀老山 展望公園

SHIMANAMI
サンライズ糸山
(しまなみモニュメント)

※西瀬戸自動車道(46.6km)と国土交通省が整備した生口島道路(6.5km)及び大島道路(6.3km)を含む延長

【参考】瀬戸中央自動車道の概要

日本で最初に国立公園に指定された瀬戸内海の優美な多島海を通り、岡山県と香川県を結ぶ全長約40kmのルート。道路と鉄道の併用ルートとなっており、物流・通勤・通学をはじめとする利便性向上などに大きな効果をもたらしている。



岡山県 周辺

水島工業地帯	児島 ジーンズストリート	ベティスミス ジーンズミュージアム&ヴィレッジ	鷺羽山
			

香川県 周辺

瀬戸大橋記念公園	与島PA	うたづ海ホテル
		

香川県 グルメ

うどん	骨付鳥
	

岡山県 グルメ

下津井の干たこ


【参考】神戸淡路鳴門自動車道の概要

景勝・舞子の浜から明石海峡を渡り、淡路島を南下し、奇勝・渦潮で名高い鳴門海峡を渡る、兵庫県と徳島県を結ぶ全長約90kmのルート。関西都市圏と四国を結ぶ直結ルートとして経済活性化などに大きく貢献している。

神戸淡路鳴門自動車道
約90km



淡路島 周辺



徳島県 グルメ



大鳴門橋 周辺

